

産学官連携した食育の推進



概 要	食を通じた健康づくりは生活習慣病の予防など長期的な健康づくりには必要不可欠であるため、産学官が連携し、栄養バランスのとれた園給食を提供することにより、食育推進を図り自然に健康になれる食環境づくりを行う。
内 容	・(株)平和堂、龍谷大学(農学部食品栄養学科 朝見教授)、保育幼稚園課およびすこやか生活課が協働で、給食・中食レシピを開発 ・園給食で開発レシピを活用 ・園給食提供時に保護者向けアプリを用いたアンケートを実施 ・平和堂の総菜売り場に開発レシピを活用した商品を提供 R6.4 R6.5 R6.6 R6.7～12 R7.1～ R7.4～ 事業開始 コンセプト共有 給食レシピ試作・試食会 アレンジレシピ作成 提供(給食・惣菜) 展開 龍谷大学・平和堂・守山市で取組スタート 「野菜たっぷり」をテーマに開発 平和堂：惣菜アレンジ 保育幼稚園課：給食アレンジ すこやか生活課：大人向けアレンジ ・アバダンントリー (1月下旬から提供) ・市内企業社食提供依頼 ・国スポ障スポ弁当 ・レシピチラシ配布  6/7 龍谷大学で学生開発レシピの試作・試食会開催。平和堂・保育幼稚園課・すこやか生活課参加。 ゼミ生9人×2品=18品の給食レシピが提案される。  1/16 保育園・こども園での給食提供開始。順次全15品提供。 ※1/16には中洲こども園で食育教室を実施 1/16 平和堂「冬野菜たっぷり！ミルクカレーグラタン」発売 1/18 モリーブにてお披露目会開催
実績	資料 1-2 のとおり

推定野菜摂取量測定イベント  	
概 要	30 歳代から 50 歳代の働き盛り世代、健康無関心層などを対象に休日のショッピングセンターで野菜摂取の促進および健康相談を実施し、行動変容を促す仕掛けづくりを行う。また、健康イベントとしても展開し、SAT システムを用いた食事状況調査や歯周病リスクチェック、血管年齢チェックを実施。
内 容	■平和堂店舗での推定野菜摂取量測定イベント 開催日時：6 月 1 日（土）、7 月 20 日（土）、12 月 14 日（土）、1 月 18 日（土）、2 月 22 日（土） ①午前 10 時から正午まで ②午後 2 時から午後 4 時まで はモリーブセントラルコートで実施。それ以外は 2 階で実施。
実 績	■本年度 4 回分の実績 - 参加者数 延べ 730 人（平均 91 人/回） - 男性・若年層へのアプローチ： 男性：211 人（全体の 28.9%） 20 歳代から 50 歳代の参加者：250 人（全体の 34.2%） - 庁内外の連携 - 危機管理課：「振込詐欺防止啓発トイレットペーパー」の配布（6 月、7 月、12 月、1 月） - 上下水道事業所：水道週間啓発蛍光ペンの配布（6 月） - スポーツ振興課：国スポ・障スポ啓発物品の配布（7 月、1 月） - 歯周病リスクチェック（7 月） - 血管年齢測定システムを用いた健康チェック（12 月） - SAT システムを用いた食育推進（2 月）

	4 推定野菜摂取量推移				
	年度	実施場所	参加者数（平均）	測定会初回値	測定会最終値
	令和3年度	アル・プラザ守山（午後のみ）	83.5 人	5.5	6.2
	令和4年度	アル・プラザ守山（午後のみ）	83.0 人	5.5	6.1
	令和5年度	アル・プラザ守山	80.6 人	5.6	5.8
	令和6年度	アル・プラザ守山	91 人	5.6	6.6 （4回目）
課 題	令和3年度から4年間実施してきた推定野菜摂取量測定イベントを通じ、食育の推進や野菜摂取に取り組むきっかけづくりができた。また、多くの人が訪れるショッピングセンター（モリーブのセントラルコート、アルプラザ守山）でイベント実施をすることで、普段訴求がしにくい、はたらき世代・健康無関心層に対しアプローチをすることができた。 今後は、食育の推進や野菜摂取啓発だけではなく、「歯と口腔」や「アルコールとの付き合い方」等をはじめとした全身の健康づくりを意識したイベントを行い、健康づくりの啓発を行っていく。				
当日写真					

50 歳到達者の節目健康チェック

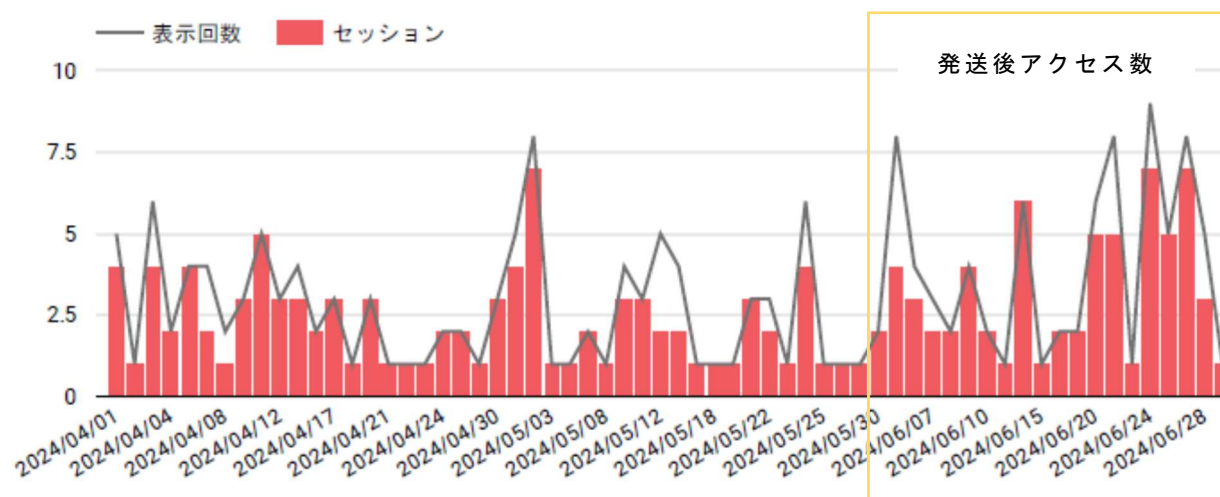


概 要	人生 100 年時代の折り返し地点である 50 歳到達者の心と身体 の健康保持・増進を図るために、個別に啓発を行い、 節目健康チェックを実施する。												
内 容	1 対象者 守山市在住の年度年齢 50 歳の人(1,481 人) 2 内容 別紙のとおり (1) すこやか歯科健診無料クーポンの送付 (2) がん検診等の健（検）診受診勧奨 (3) セルフストレスチェックの推進・心の相談先の案内 3 発送日 令和 6 年 6 月 4 日												
実 績	1 受診者数 各健（検）診の受診を啓発するなか、骨粗しょう症検診およびすこやか歯科健診については、受診者の伸びが見られた（下表）。一方で、他の健（検）診については、著しい受診者の伸びは見られなかった。 【50 歳の各健（検）診受診者数※12 月末現在】 <table><tr><td></td><td>令和 5 年度</td><td>令和 6 年度</td><td>（前年度比）</td></tr><tr><td>骨粗しょう症検診</td><td>29 人</td><td>93 人</td><td>+64 人</td></tr><tr><td>すこやか歯科健診</td><td>73 人</td><td>76 人</td><td>+ 3 人</td></tr></table> 2 市ホームページアクセス数 個別通知を発送後（6 月 4 日）、通知に関する問い合わせが多くあったが、市ホームページアクセス数に山はあるものの大きな伸びは見られなかった。 市民アンケートでは「50 歳代のストレスが多い」との結果が出ており、人生 100 年時代の節目年齢である 50 歳到達者		令和 5 年度	令和 6 年度	（前年度比）	骨粗しょう症検診	29 人	93 人	+64 人	すこやか歯科健診	73 人	76 人	+ 3 人
	令和 5 年度	令和 6 年度	（前年度比）										
骨粗しょう症検診	29 人	93 人	+64 人										
すこやか歯科健診	73 人	76 人	+ 3 人										

は、健康に関心が高い傾向にあることから、引き続き、こころの健康を含め、全身の健康づくりについてあらゆる機会を通じて啓発していく。

【守山市ホームページ：こころの相談（相談窓口一覧）アクセス数推移】

<https://www.city.moriyama.lg.jp/kenkoufukushi/kenkouiryou/1002466/1002499.html>



課題

1 受診者数

受診者数が伸びた健（検）診がある一方で、伸び悩んだ健（検）診があった。

勸奨内容について、再度検討し、対象者の健康づくりを後押しできるものにする必要がある。

特に、すこやか歯科健診の無料クーポンについては、対象者に「お得感」「特別感」を訴求したものとし、受診行動を促すものとする。

2 ホームページアクセス

本通知では、多くの QR コードを掲載し、国・県・市のホームページにアクセスする紙面割りとなっていた。そのため、ホームページへのアクセスが分散してしまったと考えられる。次回作成時には市ホームページにアクセスした後、国・県・市ホームページにアクセスできるよう、ホームページの構成についても検討を行う。

歯科に着目した介護予防事業  	
概 要	高齢者の口腔機能の維持・向上・嚥下機能低下の予防を図るために歯科衛生士による通所介護事業所等への出前講座や 65 歳からの過ごし方教室（連続講座）の中で「栄養・口腔機能について」の講義を実施する。
内 容	1 出前講座 歯科衛生士が通所介護事業所等において、口腔体操や口腔ケアについての講話を実施。 ・対象：事業所内に歯科衛生士が勤務しない通所介護事業所等の利用者および職員 ・申込数：8 事業所（内、4 事業所は 2 月以降実施予定） ・参加者数：延べ 86 人（R7.1.30 時点） 2 65 歳からの過ごし方教室～健康にいきいきと暮らす～ 5 回シリーズで、健康づくりや生きがいづくりなど、いつまでも健康にいきいきと暮らすための講座を実施。 ・第 1 回：フレイルとその予防について ・第 2 回：エンディングノートについて ・第 3 回：守山百歳体操・守山健康のび体操について ・<u>第 4 回：栄養・口腔機能について</u> ・第 5 回：認知症予防について
参加者の声	・歯の大切さがよくわかり、ありがたい講義だった。 ・歯医者から直接説明して頂き良かった。 ・歯については色々（歯周病と全身疾患）知ることができてとても良かった。残っている歯を大切にしたいと思った。 ・パタカラの内容が良く分かった。習ったことをやってみたいと思う。
課 題	・感染症等の問題により、口腔ケアを参加者が実演しながらの講義ができていない。参加後も個人が継続して口腔ケアに取り組めるよう、可能な範囲での参加型の出前講座・教室を開催等、内容の検討が必要。 ・教室参加者の年齢幅が広く、全員のニーズや理解力に即した講義内容での実施が難しい。

その他	・各圏域包括支援センターにおいて介護予防教室を開催。口腔に関しての実技・講話を実施。 （南部：5回 延26人、中部：5回 延89人、北部：4回 延96人） ・出前講座（口腔についての講話等）を各圏域包括支援センターが実施。 ・守山百歳体操および健康のび体操の自主グループを対象に体力測定を実施し、口腔に関する課題に該当した場合、口腔機能の向上や口腔ケアについて専門的な指導を行った。 ・出前教室、守山百歳体操や介護予防教室開催時、一体的実施等での訪問時等で介護予防手帳を配布した。 ・自宅で取り組める口腔体操としてもりやまプラス体操のDVD配布を行った。
------------	---

BIWA-TEKU1,000 ポイント獲得者向けインセンティブ付与 							
概 要	BIWA-TEKU アプリを活用し継続した運動習慣を市民に身に付けてもらうため、BIWA-TEKU ポイントを 1,000 ポイント以上獲得した人を対象にインセンティブを付与する。						
内 容	■対象者 BIWA-TEKU ポイントを 1,000 ポイント以上獲得し、BIWA-TEKU 賞品に応募した守山市在住の者。 ■インセンティブ QUO カード Pay ① 1 等賞 5,000 円 25 名 ② 2 等賞 3,000 円 25 名 ③ 3 等賞 1,000 円 150 名 ④ 4 等賞 500 円 300 名 計 500 人 1,000 ポイント獲得し、BIWA-TEKU 賞品に応募した守山市民を対象に 2 月に抽選。当選者には 3 月中旬ごろにメールで賞品を送付予定。						
実 績	市広報をはじめ、自治会回覧や国スポ・障スポリハーサル大会など、あらゆる機会を通じ、BIWA-TEKU を周知・啓発することにより、新規ダウンロード者数は令和 6 年 4 月から令和 7 年 1 月までの 10 か月間で、前年度比の約 1.7 倍（＋826 人）増加した。 BIWA-TEKU 新規参加者数 <table border="1"> <tr> <td></td><td>人数</td></tr> <tr> <td>令和 5 年度新規参加者数</td><td>499 人</td></tr> <tr> <td>令和 6 年度 4 月から 1 月 23 日まで新規参加者数</td><td>826 人</td></tr> </table> 【参考】新規ウォーキングコースの公開 BIWA-TEKU アプリ内で公開しているウォーキングコースが同じコースを繰り返し使用していることから、飽きのこないアプリ運営のために新コースを市民から募集し、BIWA-TEKU アプリで公開。（令和 7 年 1 月から順次）		人数	令和 5 年度新規参加者数	499 人	令和 6 年度 4 月から 1 月 23 日まで新規参加者数	826 人
	人数						
令和 5 年度新規参加者数	499 人						
令和 6 年度 4 月から 1 月 23 日まで新規参加者数	826 人						

	募集期間：7月1日から8月31日まで 応募数：12 コース 採用コース：10 コース																																																																																																																					
	BIWA-TEKU新規加入者数推移 <table><caption>BIWA-TEKU新規加入者数推移 (月別)</caption><thead><tr><th>年</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th><th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th></tr></thead><tbody><tr><td>2018年</td><td>297</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>2019年</td><td>249</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>2020年</td><td>187</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>2021年</td><td>22</td><td>13</td><td>18</td><td>14</td><td>5</td><td>7</td><td>10</td><td>9</td><td>19</td><td>17</td><td>10</td><td>209</td></tr><tr><td>2022年</td><td>95</td><td>64</td><td>33</td><td>31</td><td>31</td><td>69</td><td>110</td><td>70</td><td>57</td><td>44</td><td>37</td><td>34</td></tr><tr><td>2023年</td><td>54</td><td>44</td><td>29</td><td>101</td><td>49</td><td>58</td><td>83</td><td>27</td><td>21</td><td>36</td><td>22</td><td>24</td></tr><tr><td>2024年</td><td>27</td><td>32</td><td>19</td><td>90</td><td>83</td><td>357</td><td>128</td><td>59</td><td>33</td><td>14</td><td>21</td><td>18</td></tr><tr><td>2025年</td><td>23</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2018年	297												2019年	249												2020年	187												2021年	22	13	18	14	5	7	10	9	19	17	10	209	2022年	95	64	33	31	31	69	110	70	57	44	37	34	2023年	54	44	29	101	49	58	83	27	21	36	22	24	2024年	27	32	19	90	83	357	128	59	33	14	21	18	2025年	23											
年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月																																																																																																										
2018年	297																																																																																																																					
2019年	249																																																																																																																					
2020年	187																																																																																																																					
2021年	22	13	18	14	5	7	10	9	19	17	10	209																																																																																																										
2022年	95	64	33	31	31	69	110	70	57	44	37	34																																																																																																										
2023年	54	44	29	101	49	58	83	27	21	36	22	24																																																																																																										
2024年	27	32	19	90	83	357	128	59	33	14	21	18																																																																																																										
2025年	23																																																																																																																					
課 題	【新規参加者数の増加】 第3次健康もりやま21では「BIWA-TEKU 参加者数の増加 10,000 人（令和 17 年度末）」を目標として掲げており、目標達成に向け、引き続き、BIWA-TEKU への参加を促す取組が必要。 また、BIWA-TEKU への参加を促すことにより、「定期的な運動習慣」や「1 日の平均歩数の増加」に繋げていく。 ※BIWA-TEKU 参加者数 令和 6 年 3 月 2,387 人→令和 7 年 1 月 23 日 3,213 人 (+826 人)																																																																																																																					

市発送健（検）診お知らせ通知の対象者への送付

概 要	市が実施している健（検）診のお知らせ通知を個別に送付し、受診勧奨を実施する。																		
内 容	1 お知らせ通知 別紙のとおり 健（検）診お知らせ通知を送付することにより、個別の受診勧奨を実施。																		
実 績	1 受診者数 健（検）診受診者数（令和 6 年 12 月末現在。令和 5 年度も同時期比較） <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>令和 5 年度</th><th>令和 6 年度</th><th>前年度比</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子宮頸がん検診</td><td>288 人</td><td>349 人</td><td>+ 61 人</td></tr> <tr> <td>乳がん検診</td><td>299 人</td><td>315 人</td><td>+ 16 人</td></tr> <tr> <td>骨粗しょう症検診</td><td>135 人</td><td>387 人</td><td>+ 252 人</td></tr> </tbody> </table> 2 アンケート調査 (1) 目的 健（検）診受診のきっかけとなったお知らせ通知を確認するアンケートを実施。 (2) 期間 発送するお知らせ通知の時期を鑑み、2 回に分けて実施 ア 第 1 回：令和 6 年 8 月 3 日から 8 月 31 日まで イ 第 2 回：令和 6 年 12 月 16 日から令和 6 年 12 月 26 日まで (3) アンケート内容 別紙のとおり (4) 回答者数 計 334 人（第 1 回：218 人、第 2 回：116 人）				令和 5 年度	令和 6 年度	前年度比	子宮頸がん検診	288 人	349 人	+ 61 人	乳がん検診	299 人	315 人	+ 16 人	骨粗しょう症検診	135 人	387 人	+ 252 人
	令和 5 年度	令和 6 年度	前年度比																
子宮頸がん検診	288 人	349 人	+ 61 人																
乳がん検診	299 人	315 人	+ 16 人																
骨粗しょう症検診	135 人	387 人	+ 252 人																

(5) 結果

子宮頸がん検診、乳がん検診および骨粗しょう症検診、過半数を超える人がお知らせ通知をきっかけに検診受診をしていた。

受診状況アンケート結果

		アンケート当日に受診した健（検）診								
		①特定健診	②39歳以下健診	③75歳以上健診	④胃がん検診	⑤大腸がん検診	⑥肺がん検診	⑦子宮頸がん検診	⑧乳がん検診	⑨骨粗しょう症検診
受診きっかけになった市からのお知らせ通知	①特定健診受診券	43	0	0	8	10	18	7	12	2
	②75歳以上健診受診券	1	0	6	2	2	3	1	2	0
	③39歳以下健診案内はがき	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	④がん検診はがき（大腸・胃・肺）	7	0	0	12	10	14	7	9	5
	⑤がん検診はがき（子宮頸がん）	5	0	0	4	4	6	35	27	5
	⑥がん検診はがき（乳がん）	8	0	0	3	4	9	26	54	8
	⑦子宮頸がん検診クーポン	0	1	0	0	0	0	4	2	0
	⑧乳がん検診クーポン	1	0	0	0	0	1	1	4	0
	⑨骨粗しょう症検診お知らせはがき	4	0	0	2	5	4	4	9	35
	⑩健（検）診お知らせはがき	7	0	0	3	3	4	1	6	4
	⑪50歳おしらせ通知	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	⑫胃がん検診はがき（再）	0	0	0	5	2	2	0	1	1
	⑬COPD検診はがき	1	0	0	1	1	1	0	0	0
	⑭乳がん検診はがき（再）	0	0	0	1	1	1	4	8	1
	⑮子宮頸がんはがき（再）	0	0	0	0	0	0	4	4	0
	⑯-1特定健診はがき	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑯-2特定健診はがき	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑯-3特定健診はがき	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑯-4特定健診はがき	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑯-5特定健診はがき	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑯-6特定健診はがき	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アンケートでの受診者数		136	6	24	64	73	95	78	124	51
		31.6%	0.0%	45.0%	20.0%	21.1%	27.3%	63.6%	62.5%	76.9%

⑫胃がん検診はがき（再）以降は第2回のみ確認項目

糖尿病ストップ大作戦 	
概 要	糖尿病初期（HbA1c6.0～6.9）の者について、糖尿病について知り、糖尿病重症化予防にいち早く取り組む機会としてもらうため、相談会を実施する。
内 容	【本市の課題】 本市では、糖尿病の指標の一つである HbA1c が高値の者の割合が高く（令和 4 年度男性県内 2 位、女性県内 1 位）、糖尿病の発症予防、重症化予防に努めている。 そのような中、糖尿病性腎症の重症化予防事業の参加者の中には病識のない者が多く、糖尿病と診断されたものの、糖尿病が透析や失明、神経障害につながる危険性のある病気だと知らないまま病状が進行してしまった者が少なくない。糖尿病の多くは、初期段階で生活習慣を改善すれば悪化を食い止められることから、糖尿病初期者に対し介入を行う。 【実施内容】 1 対象者 守山市国特定健康診査受診者のうち、糖尿病初期（HbA1c6.0～6.9）の者 2 個別相談会案内通知送付 3 個別相談会の実施 相談会参加希望者に個別に糖尿病の説明を実施。 検査数値・糖尿病の病態・合併症・重症化を防ぐためのポイント等の説明。 個人の病態レベルに応じた食事指導等は、医師の指示が必要であるため行わない。 4 事後アンケートの実施
実 績	1 事業案内送付数：121 人 2 個別相談申込者：25 人（送付者の 20.7%）

	【参加者アンケートから】 ・もう一度自分の食生活を見つめ直すのに、良い機会になりました。少しずつでも努力したいと思います。 ・糖尿病について詳しく解りましたので、これからは自分なりに運動・食事、無理のない程度で頑張ろうと思いました。 ・反省の機会にはなるが、実行できるか自信がない。 ・野菜の量をもっと多くとるようにします。 ・知らなかったこともあり、詳しくお話して下さり、とても良かったです。次回の健診時に数値が下がるように頑張ります。
課 題	・非肥満で生活習慣にも十分留意している者にも有益な場となるよう、内容や伝え方に工夫が必要。 ・2回目対象者への勧奨方法。

第3次健康もりやま21の啓発

概要

令和6年度に開始する「第3次健康もりやま21」の啓発を実施する。

内容

- 1 健康推進員 現任講習「第3次健康もりやま21について」
- 2 広報もりやま6月15日号 特集記事（見開き）

第3次健康もりやま21が スタートしました

すこやか生活課 ☎(581)0201 ☎(582)1138

令和6年度から、本市の新しい健康増進計画である、第3次健康もりやま21がスタートしています。第3次健康もりやま21は、次の基本理念の実現を目指し、4つの方針に基づき、健康施策を展開していきます。

基本理念

「誰もが健やかで心豊かに自分らしく暮らせるもりやまの実現」

方針

- 1 生涯を通じた健康づくり
- 2 誰一人取り残さない健康づくり
- 3 心身の健康を一体的に推進する健康づくり
- 4 誰もが自分らしく健康に暮らせる環境づくり

基本目標

健康寿命(※)の延伸
※健康寿命とは、日常生活が制限されることなく生活できる期間のこと

計画期間

令和6年度～令和7年度の12年計画
第3次健康もりやま21、第3次守山市食育推進計画、第2次守山市生涯歯科保健計画、第2次守山市自殺対策計画の4計画を一本化した計画です。

健康に関するさまざまなイベントを実施しています

- 歯周病リスクチェック
歯周病のなりやすさのチェックを行い、歯周病リスクの高い人には、歯科検診をおすすめしています。
- 推奨野菜摂取量測定イベント
苗代の野菜摂取量を数分で確認することで、苗代の食事の振り返りができます。
- 歯と体の健康診断がスタート
1つ病に関係の深い歯と体の健康診断を行い、早期に相談・早期受診を促し、身体だけでなく心身の健康づくりも進めています。
- 健康推進員BWAERO
認知や健康診断受診などの記録で健康ポイントを集め、ポイントがたまったら健康診断を促すスマーティフォンアプリです。また、ポイントで商品券がもらえます。
- アルコールに関する啓発
関係機関や地域のアルコール関連施設等との連携により、アルコールの正しい飲み方を啓発しています。
- 小中学校の防犯教室
健康推進員と連携し、たばこやアルコールの危険性について、児童生徒に啓発しています。

第3次健康もりやま21の主なポイント

- ライフステージに合わせた健康づくり
ライフステージは、人生の節目を指します。ライフステージごとに、健康づくりの重点を定めます。
- 食生活(食育)
食生活(食育)は、健康づくりの基礎となります。食生活(食育)の改善は、健康づくりの第一歩です。
- 歯と口腔
歯と口腔は、健康づくりの重要なポイントです。歯と口腔の健康は、全身の健康につながります。
- 身体活動・運動
身体活動・運動は、健康づくりの重要なポイントです。身体活動・運動の習慣化は、健康づくりの第一歩です。
- 休養・睡眠
休養・睡眠は、健康づくりの重要なポイントです。休養・睡眠の習慣化は、健康づくりの第一歩です。
- 飲酒・喫煙
飲酒・喫煙は、健康づくりの重要なポイントです。飲酒・喫煙の習慣化は、健康づくりの第一歩です。
- 生活習慣病予防・重症化予防
生活習慣病予防・重症化予防は、健康づくりの重要なポイントです。生活習慣病予防・重症化予防の習慣化は、健康づくりの第一歩です。

環境づくりも実施

健康増進の実施とともに、特に健康を気にかけずとも、自然に健康な生活を送るための環境づくりを推進します。

- 健康な生活を送るための環境づくり
健康な生活を送るための環境づくりは、健康づくりの重要なポイントです。健康な生活を送るための環境づくりの習慣化は、健康づくりの第一歩です。

自分らしく暮らすための健康づくり

健康づくりは、自分らしく暮らすための健康づくりです。健康づくりの習慣化は、健康づくりの第一歩です。

- 健康づくりの習慣化
健康づくりの習慣化は、健康づくりの重要なポイントです。健康づくりの習慣化の習慣化は、健康づくりの第一歩です。

3 年代別パンフレットの配布

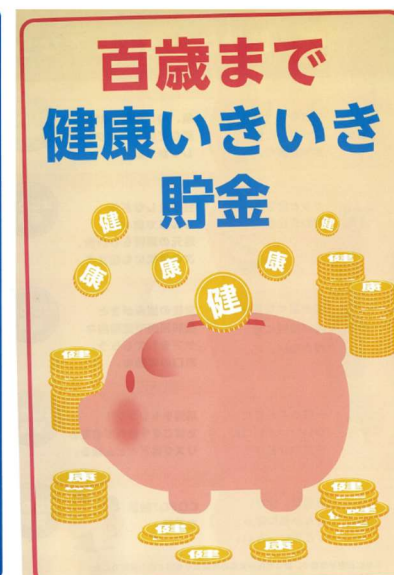
- ・育ちの世代：防煙教室（小学５年生、中学２年生）での配布
- ・はたらき世代：各イベントでの配布
- ・みのりの世代：長寿政策課・地域包括支援センター実施イベントでの配布依頼



育ちの世代向け



はたらき世代向け



みのりの世代向け